

元銀行員こう | 公式LINE限定特典

CAR LEASE | 3-MINUTE CHECK

カーリース 契約前の3分チェック

「月4万円台で新車」の広告を、電卓ひとつで答え合わせする紙です。

判子を押す前に、この3分だけ。

1分目

掛け算で、月額を「総額」に直す

リースの広告に出るのは、いちばん小さく見える数字だけです。見積書から書き写して、掛け算してください。月額は、値段ではありません。値段を小さく見せる単位です。

① 広告の月額 × (契約月数)	円 × 回 = 円
② ボーナス加算 × (回数: 年2回 × 年数)	円 × 回 = 円
③ 支払総額 = ① + ②	円
④ 実質の月額 = ③ ÷ 契約月数	円/月

◆ 動画のケース (新車のアルファード・550万円クラス・7年契約)

月44,000円 × 84回 + ボーナス14万円 × 14回 = 総額 約565万円。実質の月額は 約6万7,000円。
広告の月額の、約1.5倍でした。しかも7年後、車は返します。

そして、③の外側にもお金があります。

- ▼ 任意保険・ガソリン・駐車場は月額に入っていない(「コミコミ」は税金・車検の基本料まで)
- ▼ 事故の修理は実費。車両保険を外すと、借り物なのに自分の財布で直すことに
- ▼ 走行距離の超過・傷の原状回復・残価との差額は、返却時にまとめて請求される
- ▼ 中途解約は原則不可。やめる場合は残りのリース料相当が精算の土台になる

④が「払える」と思った方

次は2分目へ。払えるかどうかではなく、7年間やめられない契約を結んでよいかを確認します。

④が広告と違いすぎた方

その違和感が正解です。契約はいったん止めて、3分目の「見積書もう1枚」まで進んでください。

2分目 そのまま声に出して、5つ聞く

言い方を考える必要はありません。この紙を見ながら、そのまま読んでください。大事なのは答えの中身より、書面で出てくるかどうかです。

質問1 途中でやめると、いくらかかりますか。書面ください。

危険な答え:「みなさん最後まで乗られますよ」「ほぼないケースなので」 誠実な答え:解約条項と精算方法をその場で開いて見せる

質問2 月額に入っていない費用を、全部教えてください。

任意保険・事故修理・距離超過・原状回復・満了時の精算。「コミコミ」という言葉ではなく、入っていないものの一覧で確認します。

質問3 全損や盗難のとき、残りの支払いはどうなりますか。

車がなくなっても、契約に基づく精算金が残るのが原則です。一般の車両保険だけでは精算金まで届かないことがあります。リース向けの特約の有無まで確認してください。

質問4 残価〇〇万円の根拠と、満了時の精算ルールを教えてください。

査定が残価を下回ったら差額はいくら請求されるのか。上回ったら戻るのか(オープンエンド/クローズドエンドの別)。走行距離の上限と、1km超過あたりの単価もここで聞きます。

質問5 同じ車・同じ条件で、購入の見積もりも出せますか。

これが一番効きます。購入なら値引き交渉があり、ローンなら金利が表示されます。リース料は車両代・維持費・手数料が一本にまとまっていて、内訳は開示されません。比べられたくない売り手は、この質問を嫌がります。

5つのうち1つでも「口頭だけ」「あとで」で流されたら、その日は契約しない。それだけ決めておいてください。店で結んだ契約は、クーリング・オフが原則使えません。勝負は全部、判子を押す前です。

3分目

見積書を、もう1枚並べる

リースが得かどうかは、リースの見積書だけを眺めても一生わかりません。同じ車・同じ期間の銀行マイカーローン見積りを1枚取って、この表に並べてください。

A リースの支払総額(1分目の③)	円
B ローン購入の総額(元利+税金・車検)	円
C 7年後の下取り想定額(中古相場を検索)	円
D 実質の差 = A - (B - C)	円

565万円

リース7年の総額(返却)

430万円ローン購入の実質負担
(650万-下取り220万)**約135万円**その差。返しても、
買い取っても、ほぼ同じ

◆ **動画のケースの答え** 月々はリースが26,000円安く見えて、7年トータルでは約135万円高い。この135万円が「頭金0円と、支払いの一定化」の値段です。高いと感じるか、妥当と感じるかを、**数字を見てから**決めてください。

実際にあった相談(国民生活センター・2026年6月公表)

60代の方が月2万円・4年契約でリース。半年後に入院して運転できなくなり、車を返そうとしたら**解約料は約120万円**でした。「7年乗るつもり」と「7年間乗り続けられる」は、別の話です。

◆ **それでもリースが合う人はいます** 数年ごとに新車に乗り換えたい人。法人・事業者で経費処理まで含めて比べた人。総額を理解した上で「定額の楽さ」に払う人。——つまり、**この紙を最後まで埋めた人**です。月額だけ見て選ぶことだけが、危ないのです。

月額、値段ではありません。 値段を、小さく見せる単位です。

解き方は、掛け算ひとつ。月額×回数、ボーナス×回数。
判子を押す前に、電卓を。

— 元銀行員こう

◆ 最後に、これだけ覚えて帰ってください

カーリースは、頭金なしで新車に乗れて、家計を定額にできる手段の1つです。制度そのものが悪いわけではありません。ただし、毎月の支払いは一定にできても、7年間の人生までは一定にできません。月額ではなく総額。満了時だけでなく、途中の出口。この2つを見てから決めれば、どちらを選んでも、それはあなたの正解です。

▶ 埋まらなかった欄を、そのまま送ってください

「質問1で書面をもらえなかった」「残価の精算ルールが読めない」——見積書や契約書の言葉のまま、公式LINEに送ってください。個別の回答はできませんが、多く届いたものから、動画で実際に読み解きながら解説します。**あなたの1件が、次の誰かを止めます。**

次の1枚、どれが要りますか。数字だけ返信してください。

- ① 残クレ・リース・ローン どれが得? 早見表 ② 銀行マイカーローン 審査と見積りの取り方 ③ 車の維持費、年間いくら? 記入シート

◆ ひとりで抱えないための相談先

- ▶ 消費者ホットライン 188 (いやや) / 契約トラブル・解約料の相談窓口
- ▶ 国民生活センター「カーリースに関する消費者トラブルにご注意!」 / 公式の注意喚起・事例集
- ▶ 日本自動車リース協会連合会 / リース契約・残価精算のしくみの解説

【免責事項】本資料は情報提供を目的としたもので、特定の商品・契約の勧誘や解約の推奨を目的とするものではありません。掲載の数値(車両550万円・月額44,000円・ボーナス加算14万円・7年84回・残価220万円・下取り220万円・差額約135万円ほか)は、解説用に設定した概算のモデルケースです。リース料の構成・中途解約の可否と精算方法・残価の取り扱い・走行距離制限などは、会社・プラン・契約内容によって異なります。個別の判断は、契約書の確認と専門家への相談を前提としてください。本資料の情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当方は責任を負いかねます。出典:独立行政法人国民生活センター「カーリースに関する消費者トラブルにご注意!」(2025年9月17日) / 同「カーリース選びは慎重に」(2026年6月25日) / 一般社団法人日本自動車リース協会連合会。2026年8月時点の情報にもとづきます。無断転載・再配布はご遠慮ください。